

子どもの医療費助成、知ってますか！ 住んでいる市や町で異なりますよ

石川県に住む県民の子どもが医者にかかると、子どもの医療費に対して助成が出るのをご存知ですか。今回は、住んでいる市や町で内容が異なる「子どもの医療費助成」についてご紹介します。

健康保険とは別の仕組み

子どもが生まれると、親が加入している健康保険で手続きし、子どもも親と同じ健康保険に加入することになります。一般的に、健康保険を使って医療機関で治療を受けると、小学生から70歳までの人は、医療費の3割負担で治療が受けられます。また、暦の月の一月間の自己負担分が高額になって、加入している健康保険には「高額療養費」という制度があるので、収入で異なりますが、一般的には医療費は1カ月で約9万円しかかかりません。

ただし、差額ベッド代や食事などは対象外です。また、加入している健康保険で、さらに自己負担が軽減される制度として「付加給付」を設けている場合もあるので、ご自身の健康保険を確認しておきましょう。

小学校入学前の子どもの場合、病気やけがをして、医療機関で治療を受けると医療費の負担は2割です。そして医療費がいくらかかっても、高額療養費も利用できる所以負担は軽減されますが、子どもの医療費の負担がさらに軽減される「子どもの医療費助成」を、各市や町が健康保険とは別に行っています。

能美市など1市3町は全額助成

石川県には10市9町があります。子どもを育てる家庭への支援は、医療費の助成だけではありませんが、実は医療費助成の中身は、住んでいる市や町で差があるのです。

子どもの医療費助成は、入院と通院に分かれ、助成される年齢は各市や町で異なっています。石川県内で子どもの医療費助成のチャンピオンの市・町を選ぶとすると、入院・通院とも中学生修了までで全額助成される(自己負担なし)能美市、川北町、志賀町、中能登町です。

	自己負担	入院			通院			
		0-3歳児	小学生	中学生	0-3歳児	小・2年生	小3-6年生	中学生
金沢市	1000円	○	○	×	○	×	×	×
白山市	1000円	○	○	○	○	○	○	○
野々市町	1000円	○	○	○	○	○	○	○
津幡町	1000円	○	○	○	○	×	×	×
内灘町	1000円	○	○	×	○	○	×	×

金沢市の場合

例えば、金沢市の場合は、入院は小学校修了まで、通院は小学校就学前までです。白山市、野々市町は入院・通院とも中学校修了まで。津幡町は、入院が中学校修了まで、通院は小学校就学前まで、内灘町は、入院は金沢市と同じ小学校修了まで、通院は小学校2年生までとなっています。

助成金額は、健康保険の高額療養費などを利用した後の1カ月の自己負担金額のうち1000円は自己負担し、その残りが助成されます。健康保険と同様で差額ベッド代や食事などは対象外です。

例えば、金沢市で小学生のお子さんが入院し1カ月10万円の医療費がかかった場合、自己負担は3割の3万円になり、高額療養費で戻る金額はないのですが、子どもの医療費助成で3万円-1000円=2万9000円が戻ってくるというわけです。

金沢市の場合、これが通院なら助成はありません。助成を受けるには請求が必要です。詳しくは、お住まいの市、町にお尋ねください。次回も、各市や町が行っている「子育て支援」についてご紹介いたします。



サートィファイド
ファイナンシャルプランナー
高橋 昌子
暮らしのマネープラン
相談センター・所長

6月生 受講生募集中! 国家資格「3級FP技能士講座」

「3級FP技能士講座」は国家資格を取りたい方、転職、就職を目指す方に役立つ講座です。また、2級FP技能士を目指す方の復習に役立ちます。

- 【日時】毎週土曜日、全12回(各9時30分~12時30分)
- 【会場】株式会社FPサポート研究所(金沢駅西口徒歩2分)
- 【費用】受講費25,200円+教材費4,200円 【定員】10名
- ※個人情報資料送付及びご連絡にのみ利用させていただきます。

- 資料請求は①氏名・②年齢・③住所・④電話番号を明記し、FAX(076-232-8491)またはTEL(076-232-2038)、E-MAIL(fpfs@fpsl.co.jp)までお申込み下さい。

6月5日(土)開講 (全12回)

資料請求
問い合わせ

NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 認定教育機関 株式会社 FPサポート研究所

〒920-0031 金沢市広岡1-3-1 シャンブル18ビル2F

http://www.fpsl.co.jp ☎076-232-2038

